



2020年10月1日

各 位

会社名 ユニチカ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 上埜 修司
 (コード番号3103 東証第一部)

問合せ先 経営企画部長 森田 誠宏
 (TEL 06-6281-5695)

業績予想及び配当予想並びに営業利益（その他の損益）の計上見込みに関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年5月14日に公表した「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました2021年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想、配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。

また、2021年3月期第2四半期において、営業利益（その他の損益）の計上が見込まれますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1)2021年3月期第2四半期（累計）連結業績予想（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	—	—	—	—	—
今回発表予想（B）	54,500	5,600	4,600	3,000	49.23
増減額（B－A）	—	—	—	—	
増減率（%）	—	—	—	—	
（ご参考）前期連結実績 （2020年3月期第2四半期連結 累計期間）	60,486	2,866	2,148	△1,383	△26.78

(2)2021年3月期通期連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	—	—	—	—	—
今回発表予想（B）	110,000	7,200	5,500	3,100	48.19
増減額（B－A）	—	—	—	—	
増減率（%）	—	—	—	—	
（ご参考）前期連結実績 （2020年3月期）	119,537	5,467	3,153	△2,158	△43.01

(3)業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に見積もることが困難であることから未定としておりましたが、最近の動向及び現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、前記「1.」のとおり連結業績予想を公表いたします。

なお、日本国内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、第2四半期までにピークアウトし、第3四半期以後緩やかに収束に向かうものの、経済活動再開後の需要回復に時間を要することや新たな生活様式への変化による影響など、当社の事業活動に対する影響は年間を通じて発生すると仮定し、業績予想を作成しております。

2. 配当予想について

(1)2021年3月期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	—	0.00	—	0.00	0.00
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(2)配当予想の理由

当社グループは、利益配分を経営の重要課題の一つとして位置付けておりますが、当期の普通株式の配当につきましては、この間の業績及び期末の財務の状況を踏まえ、誠に遺憾ながら無配とさせて頂く予定であります。

また、今後につきましては、株主への配当は収益状況に対応させることを基本としながら、長期的な株主利益確保のために、財務体質の改善と内部留保の充実を勘案して決定する方針としております。

なお、2014年7月に第三者割当により発行した種類株式の配当につきましては、発行時に定められた種類株式発行要領に基づき、期末においてA種種類株式につきましては1株につき12,000円、B種種類株式につきましては1株につき23,740円をそれぞれ予定しております。

3. 営業利益（その他の損益）の計上見込みについて

2019年1月8日に発生しました当社宇治事業所の火災事故の結果、営業が休止又は阻害されたために喪失した利益部分と、当該事象によって生じた収益の減少を防止又は減少するために生じた必要かつ有益な費用のうち、通常要する費用を超える部分に対して、火災保険の受取りが発生し、営業利益（その他の損益）として約30億円を2021年3月期第2四半期の当社連結決算において収益計上する見込みです。

<業績等の予想及び計画に関する注意事項>

本資料における業績等の予想及び計画の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後の様々な要因により、業績等の予想及び計画と異なる可能性があります。

以 上